

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 19 年 8 月 30 日 (2007.8.30)

【公表番号】特表 2007-500116 (P2007-500116A)  
 【公表日】平成 19 年 1 月 11 日 (2007.1.11)  
 【年通号数】公開・登録公報 2007-001  
 【出願番号】特願 2006-521578 (P2006-521578)  
 【国際特許分類】

**C 0 1 F 11/02 (2006.01)**

【F I】

C 0 1 F 11/02 A

【手続補正書】  
 【提出日】平成 19 年 7 月 3 日 (2007.7.3)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

固形物質からなる粒子を有していて、それらの粒子が、懸濁液となす前に、B E T 法により計算したときに  $10 \text{ m}^2 / \text{g}$  よりも小さいかもしくはそれに等しい比表面積を有している、カルシウム - マグネシウム含有水性懸濁液。

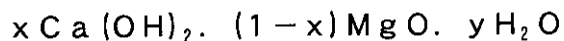
【請求項 2】

前記粒子が、B E T 法により計算したときに、 $8 \text{ m}^2 / \text{g}$  よりも小さいかもしくはそれに等しい比表面積を有している、請求項 1 に記載の懸濁液。

【請求項 3】

前記固形物質の粒子が、次式：

【化 1】



(上式において、 $0 < x \leq 1$  及び  $y \geq (1-x)$  であり、そして  $x$  及び  $y$  は、モル分率である) により表される、請求項 1 又は 2 に記載の懸濁液。

【請求項 4】

$1.2 \text{ Pa} \cdot \text{s}$  よりも小さいかもしくはそれに等しい動的粘度を有している、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の懸濁液。

【請求項 5】

25% よりも大きい固形分含量を有している、請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の懸濁液。

【請求項 6】

20 ミクロンより小さい  $d_{99}$  粒度分布寸法を有している、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項に記載の懸濁液。

【請求項 7】

B E T 法により計算したときに  $10 \text{ m}^2 / \text{g}$  よりも小さいかもしくはそれに等しい比表面

積を有している粒子を含むカルシウム - マグネシウム含有固形物質を水性媒体中に投入し、懸濁させることを含む、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のカルシウム - マグネシウム含有水性懸濁液を調製する方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0045

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0045】

【表 6】

第 6 表

低い比表面積を有する消石灰をベースとした石灰乳の経時安定性。

石灰乳	比表面積 [m <sup>2</sup> /g]	粒度分布特性 [μm]			初期粘度 [Pa. s]	48時間後 の粘度 [Pa. s]	固形分 含量
		d <sub>50</sub>	d <sub>90</sub>	d <sub>98</sub>			
1	5	4	50	130	1.15	1.15	45%
2	5	3	10	18	1.00	1.10	39%
3	5	1.6	3	5	1.20	1.15	34%